

令和6年度 蒲郡市地域強靱化計画推進会議 議事録<概要>

令和7年1月21日開催

<事務局：危機管理課>

本会議は、令和3年度に策定した蒲郡市地域強靱化計画の進捗状況を、外部有識者のご意見を交えながら確認することを目的として開催する。

本日の資料は、1月15日付で事前に送付した資料1「重要業績指標一覧」、資料2「個別具体的施策の事業詳細」及び冊子の「資料：進捗状況報告」の3点。

なお、事前質問はいただいているが、議事を進める中で不明な点があれば議題の終了時にご質問を。

本会議の座長は、設置要綱第5条により構成員のうちから市長が指名するものとなっており、本日の座長は、本市の星野危機管理監にお願いしたい。

<座長：星野危機管理監>

本会議は、本計画を効果的に推進するため、各取組主体が進めていく強靱化に資する推進施策・事業をリスクシナリオごとに整理し、外部有識者を交えて毎年の進捗状況や指標に基づく目標の達成状況を把握しつつ、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクルを回しながら進捗を確認する。

<議題2 令和6年度の進捗状況>

<事務局：危機管理課>

本市では事前に備えるべき目標として、「直接死を最大限防ぐ」など、8つの目標を設定し、その目標に付随する「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」として、「1-1住宅・建築物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生」を始めとして、43のリスクシナリオを設定した。

冊子資料5ページに一例として計画本編29ページから推進方針「1-1-①住宅・建築物の耐震化の促進」を抜粋し掲載した。赤丸で囲んだ重要業績指標は本市が強靱化を進めるために設定している指標で、この例では、建築住宅課が住宅の耐震化率を令和8年度には71%にすると設定している。

議題2（1）、資料1「重要業績指標一覧」では、進捗管理を行うため、蒲郡市のリスクシナリオに対応する事業として設定した35事業を記載している。

令和6年度には、3事業が完了する予定。現状値は、資料1の右から2列目の赤枠内にまとめた。その左の列は令和5年度の現状値で、6年度と比較して、一部で数字が進んでいない事業もあるが、ほとんどの事業で目標値に向けて進捗が見ら

れる。

先ほど一例で上げた住宅の耐震化率は、No.1に記載してある。現状値の66%は、令和4年度65%から伸びていないように見えるが、住宅は新築や取り壊しによって母数が変わるためパーセントに変化はないものの、おおむね目標に向けて伸びている。今回の報告では母数変動に合わせて65.8%に修正している。

次に議題2(2)資料2、「個別具体的施策の事業詳細」には、各課の事業のうち、国の国土強靱化予算の補助金関連事業を抜き出したものを記載してある。令和6年度の現状値は右から3列目。

これに掲載した30の補助金関連事業のうち、令和6年度には11事業が完了する予定で、令和5年度末までに完了した事業を加えると19事業が完了する予定となる。

計画本編では、この資料2のデータは185ページに記載されている。

この事業詳細は強靱化計画を推進するにあたり非常に重要なもので、毎年の進捗状況を公表する必要がある。本市では、市のホームページ上で公表しており、令和5年度の進捗状況は、令和7年4月に公開する予定。

以上のとおり、各所属では計画に定めた目標に向けて順調に事業を進めている。

<座長：星野危機管理監>

ただ今、事務局から説明があった進捗状況について、ご意見・ご質問があれば、事務局から説明を。

— 意見、質問なし —

<議題3 今後の進め方について>

<事務局：危機管理課>

本計画は令和7年度までの5か年計画であり、4月から改訂に向けて作業を行う。愛知県の地域強靱化計画は本市の計画より1年早く令和6年度に改訂作業を行い、令和7年3月策定としている。

県の素案は44あったリスクシナリオを35に整理している。本市も国・県の強靱化計画との整合性に留意しながら改訂する。

<終了>